

「成長の力」

中津市長 奥塚 正典

一本のアジアンタム。三十数年来我が家の一員です。毎年6月になるとたわわなる緑から茶黒色の坊主頭に変身させます。茎下から切断、一週間毎日外で梅雨の雨に打たせます。

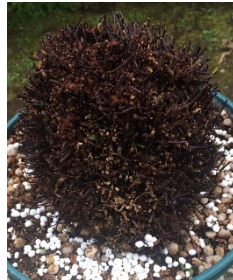
一見手荒なこの方法がよいのかどうかわかりません。正直、長髪を一挙に坊主頭にするにはちょっと勇気がいります。その後室内に戻し「元気に伸びろよ」とひそかに声をかけます。するとよきによきと芽を出しぐんぐん成長。その生命力には驚かされます。

そもそも成長するのに何が必要でしょうか。盆栽名人が語っていたこと。ある品種のサボテンはきめの細かい土では育たず、大きな石のような荒い土の塊が一番良い。恵まれすぎると本来の力が伸びずかえってダメになる。本来なら必要なものを制限して厳しい条件のもとで鍛え上げて育てると、逆境を乗り越えようとして力がついていく例なのでしょう。

しかし、人の育成はそう簡単にはいきません。「してみせて 言って聞かせて させてみる（上杉鷹山の言葉）」。自らがやり念入りに教え多く経験させその上でその成果をほめないと人は育たないとも言われ何とも難しいところです。教える方も教わる方も辛抱が肝心なのかもしれません。

市役所を支えるのは、何ととっても人材。知識、行動力、向上心、公正さと思いやりがある職員であることそしてそのように育っていくことが大切です。目指すは「政策市役所」です。

「丸坊主にしろ」とまでは言いませんが、私も時には職員に大きな雷を落とします。す



ると次に市長室に来るときにはぐーんと成長しています。あれやこれやで成長していく職員を見るのは楽しみです。でも、私もそうですが、アジアンタムも職員も丸坊主より長髪の方が好きでしょうかね。